



年間第 20 主日 (マタイ 15:21-28)

神の計画に従う信仰、機知に富んだ彼女の信仰

持ち物を売り買いするサービスで「メルカリ」というのがありますね。中田神父も利用したことがあります。なんとこのサイトに、私の説教集「取って食べなさい」がABC年三冊セットで売りに出されていたんです。

初め、「けしからん！」とムツときたのですが、考え直しました。説教集を売りに出した人も十分味わったはずだ。せっかくだから、他の人にも味わってもらおう。そう考えたのだと受けとめることにしました。

説教集「取って食べなさい」がどうなるのか、しばらく様子を見ていますと、なんと中古の本であるにもかかわらず千円でどなたかが買い取ってくれていたのです。読者が増えることは有難いことです。

説教集「取って食べなさい」で引っぱりますが、最初は説教集を作る予定などありませんでした。伊王島馬込小教区に赴任した際、すぐに司祭館建設の話が持ち上がりました。司祭館落成が見通せる頃、建設に協力いただいた小教区の皆さん、寄附をくださったたくさんの方々に感謝のしるしが必要でしたが、これとって特別なものが思い浮かばなかったのです。

そこで役員に、「説教集を作れば、ここまでの司祭館建設のいきさつも盛り込んだ記念品が用意できるよ」と投げかけました。ではそうしましょうと二つ返事で決まりまして発行に至ったわけです。本来は司祭館建設に関わった方への返礼の品でしたので、関係する場所や人に行き渡るだけの部数を用意しました。用意した部数はすぐに無くなりました。

ところが「取って食べなさい」には続きがありました。司祭館建設の御礼として出したのは「B年・C年」の二冊でしたが、当時の馬込小教区の信徒におだてられて「A年も発行してください。新しい司祭館に住みながら生まれてきた説教を読みたいです」と言うのです。上手に言うよね。そこで、小教区のみだけ用意してみたのですが、協力いただいたほかの方々からも「ABC年揃えたい」ということになり、追加で印刷する運びとなりました。

その後も声がかかりまして、ABC年三種類とも追加印刷をしましたが、今現在は残っていません。馬込教会の後、浜串、田平、そしてこちら福江にお世話になり、それぞれで配ってもうどこにも在庫はありません。

しかしそれでも、願う人はいるのですね。「もう残っていないのですか？」私はそう言われて、製本するには100万円単位のお金が必要なので難しいけれども、答える方法を思い付きました。パソコンが必要になりますが、PDFファイルでしたらお渡しできます。こんな感じです。

イエスは、今週の箇所、カナンの女性から「私たちがあなたのいつくしみに与る方法はないのですか？」と求められて、マルコ福音書の該当箇所では「それほど言うなら、よろしい。」(マルコ7・27)と答えておられます。イスラエルの民が優先順位は高い。けれども救いの計画の順番を壊さないなら、よろしい。そうしてイエスも女性の願いに答えてくださいました。

「主よ、ごもつともです。しかし、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです。」(マタイ15・27)無理を承知で何かを願う時、「主よ、ごもつともです」と素直に認める信仰をまず持ちたいものです。その上で、「それほど言うなら、よろしい」と応じてくださる願い方があるのだと思います。私たちも、常に機転の利いた言葉で信仰の恵みを願いましょう。教会の善のために、神の力あるわざを願いましょう。

年間第 21 主日(マタイ 16:13-20)